

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第66期第3四半期（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）
【会社名】	株式会社 銀座山形屋
【英訳名】	GINZA YAMAGATAYA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山形 政弘
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地三丁目5番4号
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都練馬区関町北二丁目3番20号(管理部)
【電話番号】	03(6680)8711(代表)
【事務連絡者氏名】	管理部長 渡辺 光潤
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

第57期（平成13年3月31日）から退職給付に係る会計基準（「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成10年6月16日）を適用し、会計基準変更時差異（218,821千円）を一括費用処理していましたが、一部従業員（定年退職者等）の退職給付引当金の計上に関して、会社都合要支給額に基づく退職給付引当金を計上すべきところを、自己都合要支給額に基づき退職給付引当金を計上していたことにより、退職給付引当金の計上不足の状態になっていました。

その不足額につき過年度訂正報告が必要との判断に至り、当社として今回の訂正を行うことといたしました。

なお、本件発生原因は、経理部門・人事部門と社外専門家とのコミュニケーション不足並びに基礎資料のチェック不足等が主たる要因と考えます。今後は関係者間のコミュニケーションの充実、基礎資料の妥当性・算出プロセスのダブルチェック等の励行を強化し再発防止に努めます。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

第3 四半期連結累計期間

第3 四半期連結会計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

(株主資本等関係)

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第65期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 累計期間	第65期 第3四半期連結 会計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間	第65期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	4,178,226	3,654,295	1,687,240	1,480,122	5,416,153
経常利益又は経常損失() (千円)	<u>86.650</u>	<u>72.302</u>	<u>140.403</u>	<u>125.200</u>	<u>287.268</u>
四半期純利益又は四半期(当期)純損失() (千円)	<u>167.506</u>	<u>122.691</u>	<u>88.945</u>	<u>75.559</u>	<u>563.969</u>
純資産額(千円)	-	-	<u>3,829,885</u>	<u>3,195,234</u>	<u>3,398,559</u>
総資産額(千円)	-	-	5,547,175	4,722,543	4,624,758
1株当たり純資産額(円)	-	-	<u>221.72</u>	<u>185.04</u>	<u>196.80</u>
1株当たり四半期純利益金額又は四半期(当期)純損失金額() (円)	<u>9.70</u>	<u>7.10</u>	<u>5.15</u>	<u>4.38</u>	<u>32.65</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	<u>69.0</u>	<u>67.7</u>	<u>73.5</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	127,900	165,578	-	-	256,107
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	136,130	129,081	-	-	143,926
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	87,308	1,058	-	-	87,390
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	-	1,015,715	917,431	623,830
従業員数(人)	-	-	410	386	398

~ 注略 ~

(訂正後)

回次	第65期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 累計期間	第65期 第3四半期連結 会計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間	第65期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	4,178,226	3,654,295	1,687,240	1,480,122	5,416,153
経常利益又は経常損失() (千円)	<u>98.275</u>	<u>83.598</u>	<u>138.101</u>	<u>114.102</u>	<u>306.092</u>
四半期純利益又は四半期(当期)純損失() (千円)	<u>179.130</u>	<u>133.988</u>	<u>86.643</u>	<u>64.461</u>	<u>582.793</u>
純資産額(千円)	-	-	<u>3,718,829</u>	<u>3,065,681</u>	<u>3,280,303</u>
総資産額(千円)	-	-	5,547,175	4,722,543	4,624,758
1株当たり純資産額(円)	-	-	<u>215.32</u>	<u>177.54</u>	<u>189.95</u>
1株当たり四半期純利益金額又は四半期(当期)純損失金額() (円)	<u>10.37</u>	<u>7.76</u>	<u>5.02</u>	<u>3.73</u>	<u>33.74</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-

回次	第65期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 累計期間	第65期 第3四半期連結 会計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間	第65期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
自己資本比率(%)	-	-	67.0	64.9	70.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	127,900	165,578	-	-	256,107
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	136,130	129,081	-	-	143,926
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	87,308	1,058	-	-	87,390
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	1,015,715	917,431	623,830
従業員数(人)	-	-	410	386	398

~ 注略 ~

第2【事業の状況】

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1)業績の状況

～前略～

このような状況のなか、当社グループにおきましては売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減等を行いました。退店等の影響により当第3四半期連結会計期間における売上高は、14億8千万円(前年同四半期比12.3%減)となりました。損益面につきましては、営業利益1億1千2百万円(前年同四半期比9.1%減)、経常利益1億2千5百万円(前年同四半期比10.8%減)、四半期純利益につきましては退店予定店舗に対する固定資産処分損を3千3百万円計上することなどにより7千5百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。

～後略～

(2)キャッシュ・フローの状況

～前略～

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億6千8百万円の増加(前年同四半期は3億円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益8千2百万円の計上や仕入債務の増加2億7千2百万円があった一方で、売上債権の増加による資金の減少1億9千9百万円があったことが主な要因であります。

～後略～

(訂正後)

(1)業績の状況

～前略～

このような状況のなか、当社グループにおきましては売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減等を行いました。退店等の影響により当第3四半期連結会計期間における売上高は、14億8千万円(前年同四半期比12.3%減)となりました。損益面につきましては、営業利益1億1百万円(前年同四半期比16.5%減)、経常利益1億1千4百万円(前年同四半期比17.4%減)、四半期純利益につきましては退店予定店舗に対する固定資産処分損を3千3百万円計上することなどにより6千4百万円(前年同四半期比25.6%減)となりました。

～後略～

(2)キャッシュ・フローの状況

～前略～

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億6千8百万円の増加(前年同四半期は3億円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益7千1百万円の計上や仕入債務の増加2億7千2百万円があった一方で、売上債権の増加による資金の減少1億9千9百万円があったことが主な要因であります。

～後略～

第5【経理の状況】

(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなりました。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなりました。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	917,431	623,830
受取手形及び売掛金	2 597,540	602,731
商品及び製品	247,332	213,575
仕掛品	18,852	10,830
原材料	139,954	133,642
その他	118,297	171,290
貸倒引当金	2,616	4,498
流動資産合計	2,036,791	1,751,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	150,343	182,555
その他(純額)	264,218	263,687
有形固定資産合計	1 414,561	1 446,242
無形固定資産		
その他	7,583	8,206
無形固定資産合計	7,583	8,206
投資その他の資産		
投資有価証券	1,059,492	1,158,224
敷金及び保証金	993,159	1,050,742
その他	359,253	373,603
貸倒引当金	148,298	163,663
投資その他の資産合計	2,263,607	2,418,906
固定資産合計	2,685,752	2,873,356
資産合計	4,722,543	4,624,758
負債の部		
流動負債		
買掛金	436,000	220,750
未払法人税等	10,699	11,317
ポイント引当金	31,522	27,146
その他	450,034	353,700
流動負債合計	928,258	612,915
固定負債		
繰延税金負債	49	13,743
退職給付引当金	486,431	491,262
役員退職慰労引当金	90,295	89,565
その他	22,273	18,712
固定負債合計	599,051	613,284
負債合計	1,527,309	1,226,199

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	882,948	1,174,617
利益剰余金	275,634	444,611
自己株式	79,151	79,031
株主資本合計	3,255,722	3,378,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,488	20,024
評価・換算差額等合計	60,488	20,024
純資産合計	3,195,234	3,398,559
負債純資産合計	4,722,543	4,624,758

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	917,431	623,830
受取手形及び売掛金	2 597,540	602,731
商品及び製品	247,332	213,575
仕掛品	18,852	10,830
原材料	139,954	133,642
その他	118,297	171,290
貸倒引当金	2,616	4,498
流動資産合計	2,036,791	1,751,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	150,343	182,555
その他(純額)	264,218	263,687
有形固定資産合計	1 414,561	1 446,242
無形固定資産		
その他	7,583	8,206
無形固定資産合計	7,583	8,206
投資その他の資産		
投資有価証券	1,059,492	1,158,224
敷金及び保証金	993,159	1,050,742
その他	359,253	373,603
貸倒引当金	148,298	163,663
投資その他の資産合計	2,263,607	2,418,906
固定資産合計	2,685,752	2,873,356
資産合計	4,722,543	4,624,758
負債の部		
流動負債		
買掛金	436,000	220,750
未払法人税等	10,699	11,317
ポイント引当金	31,522	27,146
その他	450,034	353,700
流動負債合計	928,258	612,915
固定負債		

繰延税金負債	49	13,743
退職給付引当金	615,983	609,518
役員退職慰労引当金	90,295	89,565
その他	22,273	18,712
固定負債合計	<u>728,603</u>	<u>731,540</u>
負債合計	<u>1,656,861</u>	<u>1,344,455</u>

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	882,948	1,174,617
利益剰余金	<u>405,187</u>	<u>562,867</u>
自己株式	79,151	79,031
株主資本合計	<u>3,126,170</u>	<u>3,260,279</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,488	20,024
評価・換算差額等合計	<u>60,488</u>	<u>20,024</u>
純資産合計	<u>3,065,681</u>	<u>3,280,303</u>
負債純資産合計	<u>4,722,543</u>	<u>4,624,758</u>

(2)【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,178,226	3,654,295
売上原価	1,982,795	1,739,646
売上総利益	2,195,430	1,914,649
販売費及び一般管理費	2,331,163	2,041,711
営業損失()	135,733	127,062
営業外収益		
受取利息	2,048	2,517
受取配当金	31,359	29,194
受取手数料	12,965	11,367
雑収入	8,688	13,166
営業外収益合計	55,061	56,245
営業外費用		
支払利息	-	324
投資事業組合運用損	4,939	59
雑損失	1,039	1,101
営業外費用合計	5,979	1,485
経常損失()	86,650	72,302
特別利益		
貸倒引当金戻入額	530	17,246
償却債権取立益	114	-
特別利益合計	645	17,246
特別損失		
役員退職慰労金	1,157	-
固定資産除却損	3,047	104
投資有価証券評価損	10,430	1,293
固定資産処分損	14,160	33,585
減損損失	45,019	21,626
特別損失合計	73,815	56,609
税金等調整前四半期純損失()	159,820	111,665
法人税、住民税及び事業税	7,685	11,026
法人税等合計	7,685	11,026
四半期純損失()	167,506	122,691

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,178,226	3,654,295
売上原価	1,981,971	1,736,017
売上総利益	2,196,255	1,918,277
販売費及び一般管理費	2,343,612	2,056,636
営業損失()	147,357	138,359
営業外収益		
受取利息	2,048	2,517
受取配当金	31,359	29,194
受取手数料	12,965	11,367
雑収入	8,688	13,166
営業外収益合計	55,061	56,245

営業外費用		
支払利息	-	324
投資事業組合運用損	4,939	59
雑損失	1,039	1,101
営業外費用合計	5,979	1,485
経常損失()	<u>98,275</u>	<u>83,598</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	530	17,246
償却債権取立益	114	-
特別利益合計	645	17,246
特別損失		
役員退職慰労金	1,157	-
固定資産除却損	3,047	104
投資有価証券評価損	10,430	1,293
固定資産処分損	14,160	33,585
減損損失	45,019	21,626
特別損失合計	73,815	56,609
税金等調整前四半期純損失()	<u>171,444</u>	<u>122,961</u>
法人税、住民税及び事業税	7,685	11,026
法人税等合計	7,685	11,026
四半期純損失()	<u>179,130</u>	<u>133,988</u>

【第3四半期連結会計期間】

(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,687,240	1,480,122
売上原価	<u>757,871</u>	<u>667,166</u>
売上総利益	<u>929,369</u>	<u>812,955</u>
販売費及び一般管理費	<u>805,354</u>	<u>700,198</u>
営業利益	<u>124,015</u>	<u>112,756</u>
営業外収益		
受取利息	264	624
受取配当金	6,709	5,256
受取手数料	5,060	4,585
雑収入	4,418	2,227
営業外収益合計	<u>16,452</u>	<u>12,694</u>
営業外費用		
支払利息	-	119
雑損失	64	130
営業外費用合計	<u>64</u>	<u>250</u>
経常利益	<u>140,403</u>	<u>125,200</u>
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	-	13
貸倒引当金戻入額	150	3,884
特別利益合計	<u>150</u>	<u>3,897</u>
特別損失		
固定資産除却損	102	-
投資有価証券評価損	6,465	-
固定資産処分損	7,929	33,585
減損損失	34,364	13,144
特別損失合計	<u>48,862</u>	<u>46,729</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>91,690</u>	<u>82,368</u>
法人税、住民税及び事業税	2,744	6,809
法人税等合計	2,744	6,809
四半期純利益	<u>88,945</u>	<u>75,559</u>

(訂正後)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,687,240	1,480,122
売上原価	<u>759,930</u>	<u>667,344</u>
売上総利益	<u>927,310</u>	<u>812,777</u>
販売費及び一般管理費	<u>805,597</u>	<u>711,119</u>
営業利益	<u>121,713</u>	<u>101,658</u>
営業外収益		
受取利息	264	624
受取配当金	6,709	5,256
受取手数料	5,060	4,585
雑収入	4,418	2,227
営業外収益合計	<u>16,452</u>	<u>12,694</u>
営業外費用		
支払利息	-	119
雑損失	64	130
営業外費用合計	<u>64</u>	<u>250</u>

経常利益	<u>138,101</u>	<u>114,102</u>
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	-	13
貸倒引当金戻入額	150	3,884
特別利益合計	<u>150</u>	<u>3,897</u>
特別損失		
固定資産除却損	102	-
投資有価証券評価損	6,465	-
固定資産処分損	7,929	33,585
減損損失	34,364	13,144
特別損失合計	<u>48,862</u>	<u>46,729</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>89,388</u>	<u>71,270</u>
法人税、住民税及び事業税	2,744	6,809
法人税等合計	<u>2,744</u>	<u>6,809</u>
四半期純利益	<u>86,643</u>	<u>64,461</u>

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	159,820	111,665
減価償却費	46,654	30,067
減損損失	45,019	21,626
貸倒引当金の増減額(は減少)	907	17,246
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,484	730
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,769	4,830
受取利息及び受取配当金	33,407	31,712
支払利息	-	324
売上債権の増減額(は増加)	19,421	13,014
たな卸資産の増減額(は増加)	91,083	48,090
仕入債務の増減額(は減少)	250,973	215,250
その他	55,289	74,696
小計	120,884	142,163
利息及び配当金の受取額	33,421	31,717
利息の支払額	-	324
法人税等の支払額	26,405	7,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,900	165,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	25,929	11,604
投資有価証券の取得による支出	1,311	1,328
敷金及び保証金の回収による収入	44,473	131,745
敷金及び保証金の差入による支出	213	188
短期貸付けによる支出	150,000	-
出資金の回収による収入	-	4,500
貸付金の回収による収入	-	8,823
その他	3,150	2,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	136,130	129,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	912	120
リース債務の返済による支出	-	938
配当金の支払額	86,396	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,308	1,058
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	95,539	293,600
現金及び現金同等物の期首残高	1,111,254	623,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,015,715	917,431

(訂正後)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	171,444	122,961
減価償却費	46,654	30,067
減損損失	45,019	21,626
貸倒引当金の増減額(は減少)	907	17,246
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,484	730
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,854	6,465
受取利息及び受取配当金	33,407	31,712
支払利息	-	324
売上債権の増減額(は増加)	19,421	13,014

たな卸資産の増減額（ は増加）	91,083	48,090
仕入債務の増減額（ は減少）	250,973	215,250
その他	55,289	74,696
小計	120,884	142,163
利息及び配当金の受取額	33,421	31,717
利息の支払額	-	324
法人税等の支払額	26,405	7,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,900	165,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	25,929	11,604
投資有価証券の取得による支出	1,311	1,328
敷金及び保証金の回収による収入	44,473	131,745
敷金及び保証金の差入による支出	213	188
短期貸付けによる支出	150,000	-
出資金の回収による収入	-	4,500
貸付金の回収による収入	-	8,823
その他	3,150	2,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	136,130	129,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	912	120
リース債務の返済による支出	-	938
配当金の支払額	86,396	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,308	1,058
現金及び現金同等物の増減額（ は減少）	95,539	293,600
現金及び現金同等物の期首残高	1,111,254	623,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,015,715	917,431

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 834,432千円	給与手当 748,636千円
賃借料 476,331千円	賃借料 406,944千円
退職給付費用 <u>37,902</u> 千円	退職給付費用 <u>29,880</u> 千円
役員退職慰労引当金繰入額 4,658千円	役員退職慰労引当金繰入額 4,215千円
ポイントカード引当金繰入額 17,444千円	ポイントカード引当金繰入額 4,376千円

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 284,415千円	給与手当 248,634千円
賃借料 159,062千円	賃借料 135,623千円
退職給付費用 <u>14,065</u> 千円	退職給付費用 <u>7,155</u> 千円
役員退職慰労引当金繰入額 2,420千円	役員退職慰労引当金繰入額 1,144千円
ポイントカード引当金繰入額 3,664千円	ポイントカード引当金繰入額 496千円

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 834,432千円	給与手当 748,636千円
賃借料 476,331千円	賃借料 406,944千円
退職給付費用 <u>50,351</u> 千円	退職給付費用 <u>44,805</u> 千円
役員退職慰労引当金繰入額 4,658千円	役員退職慰労引当金繰入額 4,215千円
ポイントカード引当金繰入額 17,444千円	ポイントカード引当金繰入額 4,376千円

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 284,415千円	給与手当 248,634千円
賃借料 159,062千円	賃借料 135,623千円
退職給付費用 <u>14,308</u> 千円	退職給付費用 <u>18,076</u> 千円
役員退職慰労引当金繰入額 2,420千円	役員退職慰労引当金繰入額 1,144千円
ポイントカード引当金繰入額 3,664千円	ポイントカード引当金繰入額 496千円

(株主資本等関係)

(訂正前)

～前略～

5. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成21年6月26日開催の定時株主総会において、その他資本剰余金を291,668千円減少し繰越利益剰余金の欠損を補填することを決議しております。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が291,668千円減少し利益剰余金が291,668千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が882,948千円、利益剰余金 275,634千円となっております。

(訂正後)

～前略～

5. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成21年6月26日開催の定時株主総会において、その他資本剰余金を291,668千円減少し繰越利益剰余金の欠損を補填することを決議しております。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が291,668千円減少し利益剰余金が291,668千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が882,948千円、利益剰余金 405,187千円となっております。

(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>185.04</u> 円	1株当たり純資産額 <u>196.80</u> 円

2. 1株当たり四半期純損失金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額 <u>9.70</u> 円	1株当たり四半期純損失金額 <u>7.10</u> 円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失(千円)	<u>167,506</u>	<u>122,691</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	<u>167,506</u>	<u>122,691</u>
期中平均株式数(千株)	17,275	17,268

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>5.15</u> 円	1株当たり四半期純利益金額 <u>4.38</u> 円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	<u>88,945</u>	<u>75,559</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	<u>88,945</u>	<u>75,559</u>
期中平均株式数(千株)	17,271	17,268

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>177.54</u> 円	1株当たり純資産額 <u>189.95</u> 円

2. 1株当たり四半期純損失金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額 <u>10.37</u> 円	1株当たり四半期純損失金額 <u>7.76</u> 円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失(千円)	179,130	133,988
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	179,130	133,988
期中平均株式数(千株)	17,275	17,268

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 5.02円	1株当たり四半期純利益金額 3.73円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	86,643	64,461
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	86,643	64,461
期中平均株式数(千株)	17,271	17,268

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社 銀座 山 形 屋

取締役会

御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋藤 淳	印
--------------------	-------	------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	平野雄二	印
--------------------	-------	------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座山形屋の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座山形屋及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出事由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成21年2月9日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社 銀座 山 形 屋

取締役会

御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋藤 淳	印
--------------------	-------	------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	平野雄二	印
--------------------	-------	------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座山形屋の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座山形屋及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出事由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成22年2月9日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。